

# 薬の分子模型作り

2005. 6. 24 小樽分子模型の会 斎藤一郎

[ichirokasetu@yahoo.co.jp](mailto:ichirokasetu@yahoo.co.jp) <http://www17.plala.or.jp/ichirokasetu/>

2000年2月9日に旭川の樋栄さんに呼んでもらって、旭川薬学研究会に行ってきました。旭川薬学研究会は毎月第2水曜日の夜に集まって、製薬会社の資料を学習したり、普通の薬剤師さんがしないようなちょっと楽しいことをしたりする研究会のようです。

この日は平日でしたが、中井（渡邊）真紀子さんにも手伝ってもらって、旭川で分子模型作りをしてきました。10人くらいの方が参加してくれたように思います。いつものように最初に水とエチルアルコールを作って、道具の確認をしました。

今回のリクエストに今まで作ったことのないアセトアミノフェンやアスピリンというのがありました。ボクはまだまだ計算して分子模型を作るところまで行ってませんが、今まで作った分子模型からなんとなくどの孔で切ったらよいかとか、どの角度定規で切ったらよいかということがわかるようになっていました。今でもアセトアミノフェンの分子模型が残っていますが、きっと初めて作る薬の分子模型だったから、不安で見本の分子模型を作ったのでしょう。

始まってしまえば、さすがに樋栄さんに鍛えられているだけあって、楽しいことに敏感な方々ばかりでした。あっという間に時間が過ぎて会は終わり、小樽へと向かったのです。

確か、小樽に着いたのは12時を過ぎてたな。今も元気だけど、前は無茶苦茶してたなと思いつきながら笑ってしまうのでした。